

学校 - 地元CATV - 専門家が連携した番組制作

笠岡市立中央小学校 教諭 高橋 伸明

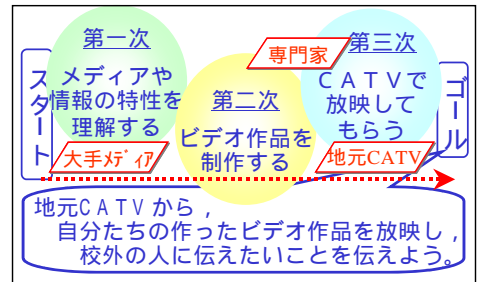
はじめに

昨年度中央小学校第6学年では、1年間かけて「メディアの達人になろう」プロジェクトというプロジェクト学習を実践しました（総合的な学習の時間）。メディアや情報の特性を学び、それを生かしながら24グループに分かれてビデオ作品を制作し、さらにそのビデオ作品を学校外の人にも見てもらおうという営みでした。

第二次のビデオ制作の過程では、専門家（下村健一さん：市民メディアトレーナー、元TBSディレクター・アナウンサー）にかかわっていただきました。学校へお越しいただき「ビデオ作品中間審査会」を開き、子ども同士で相互評価をするだけでなく、専門的な視点から改善点などのアドバイスをいただきました。各グループではその審査会を経て再取材・再編集に取り組みました。

そして、笠岡放送（地元CATV）では、ただ子どもたちの24作品を流すだけでなく、下村さんのコメントも随所に挿入した番組に仕上げてください、放映していただきました。このことには、アドバイスをいただいて作り直した作品がどのように変容したかということも、下村さんに見ていただく意図も込めていました。

33分あまりのこの番組、メディア・リテラシー教育・情報教育の研修会で、教職員が視聴しても意義があるような内容に仕上がっています。



プロジェクト学習の流れ

構成 番組名： 「情報発信」 - 笠岡市立中央小学校 - （33分49秒）



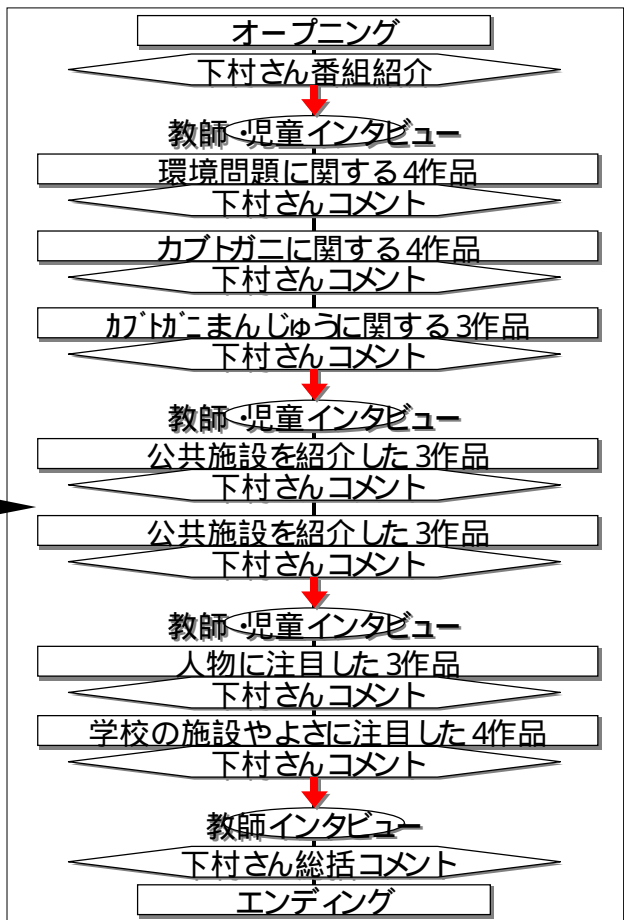
笠岡放送が撮影した映像



子どもたちが撮影した映像



東京のスタジオで撮影した映像



番組の大まかな流れ